

# 農山漁村発イノベーションのモデル事例

農林水産省では、多様な形で農山漁村に関わる者の参入を促進し、農泊、農福連携、ジビエをはじめ、農山漁村のあらゆる地域資源をフル活用した「農山漁村発イノベーション」を推進するなど、農山漁村における所得と雇用機会の確保を図るため、農山漁村発イノベーションのモデル事例を選定しています。

【農林水産業・地域の活力創造プラン（令和3年12月農林水産業・地域の活力創造本部）抜粋】

## Ⅲ 施策の展開方向

### 9. 人口減少社会における農山漁村の活性化

また、多様な形で農山漁村に関わる者の参入を促進し、農泊、農福連携、ジビエをはじめ、農山漁村のあらゆる地域資源をフル活用した「農山漁村発イノベーション」を推進するなど、農山漁村における所得と雇用機会の確保を図る。

＜目標＞○ 農山漁村発イノベーションのモデル事例を2025年度までに 300事例創出

【新しい資本主義実行計画「フォローアップ」（令和4年6月新しい資本主義実現本部）抜粋】

## Ⅲ. 経済社会の多極集中化

### 1. デジタル田園都市国家構想の推進

（1）デジタル田園都市国家の実現に向けた基盤整備

（デジタルによる中山間地等の生活環境整備・活性化）

・ 農山漁村発イノベーションのコーディネーターを派遣して、デジタル技術も活用し、2025年度までにモデル事例を300事例創出

## ●農山漁村発イノベーションのモデル事例数

（R6年9月時点）

|        | 2021年度<br>（令和3年度） | 2022年度<br>（令和4年度） | 2023年度<br>（令和5年度） | 2024年度<br>（令和6年度） | 2025年度<br>（令和7年度） | 累計数 |
|--------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-----|
| モデル事例数 | 53                | 113               | 78                |                   |                   | 244 |

## ●モデル事例の選定方法

1. 農山漁村発イノベーション対策等により、農山漁村発イノベーションに取り組む優良事業体※
2. 各種表彰地区のうち、地域資源を活用して新たな価値を創出している取組
3. 都道府県の優良事例等

を中心とし、各種の事業においてアイデアの源泉となる事例を選定する。

※ 優良事業体とは、六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画認定時から認定3年後又は農山漁村発イノベーション推進支援事業、農山漁村発イノベーション等整備事業若しくは農山漁村発イノベーションサポート事業による事業完了から2年後にかけて、①売上高（支援に係るイノベーション事業かつ経営全体）、②営業利益（経営全体）の全ての指標が増加した者